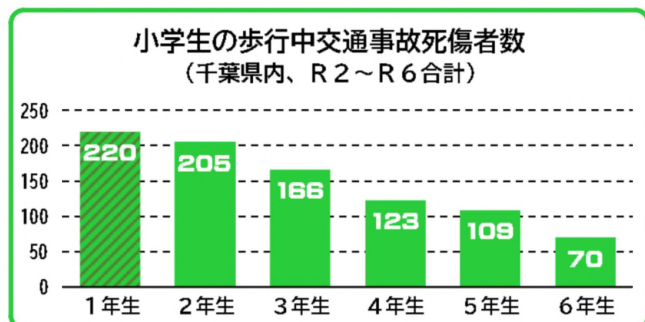




下のグラフは、歩行中の交通事故により死亡・負傷した小学生の人数を学年別に表したものです。



小学生歩行中の死傷者数は **1年生** が最も多い!



こどもが1人で道路を歩く機会が増える一方、交通ルールや安全確認がまだ十分に身についていないためだと考えられます

保護者・指導者の方へ ▶▶ こどもに交通ルールを繰り返し伝えましょう

- 道路を横断するときは「**止まる・見る・待つ**」を習慣にしましょう

- ① 道路を渡る前に「**止まる**」
- ② 車が来ていないか「**見る**」
- ③ 車が通り過ぎるまで「**待つ**」



- 少し遠回りでも「**横断歩道・歩道橋・信号機**」のあるところで横断するように伝えましょう
- 自宅周辺や通学路に危険な場所がないか、こどもと一緒に歩いて確認しましょう

車を運転する方へ ▶▶ こどもの「急な動き」に備えましょう

こどもは興味をひくものに夢中になり、突然路上に飛び出したり、無理に道路を横断しようとする場合があります

- こどもだけで歩いているときや、横断しようとしているときは、**一時停止か徐行**をして、安全に通れるようにしましょう

※ こどもに限らず、横断歩道を横断しようとする人がいるときは**一時停止の義務**があります

- 通学路や住宅街などでは、こどもの飛び出しに備えて**減速**しましょう



自転車は「車両」(車の仲間)です



信号や標識は必ず守りましょう
横断歩道を渡ろうとする人がいたら、手前で停止しなければなりません

歩行者のそばを通るときは、一時停止か徐行をして、歩行者の通行を妨げないようにしましょう

こどもは大人を見ています

大人が交通ルールやマナーを守って、こどもの手本となるよう行動しましょう

千葉県警察
ホームページ
「子供の事故防止」

